

なすび

第36号

目次

1p~2p 年度末を迎えて
2p~4p 部活動、行事報告

今後の予定
編集後記

栃木県那須学園
〒329-2132
矢板市沢800
TEL 0287-43-0573
FAX 0287-43-6886
メール nasu-gakuen
@pref.tochigi.lg.jp
発行日 令和3年3月12日

〜年度末を迎えて〜

厳しい冬の寒さも和らぎ、梅の花もほころび始め、日ごとに春の訪れを感じるようになりました。時間が過ぎるのは早いもので、いつの間にかもう中学三年生の卒業の時期です。今年度も多くの子ども達が那須学園を巣立っていくことでしょう。卒園生達が今後、健全で充実した生活を送れることを祈って送り出します。さて、園長先生が今年度末で退職となります。そこで長年、那須学園を見守って下さった園長先生に一年を振り返っていただきました。園長先生として、那須学園を支えていただき、ありがとうございます。

◎一年を振り返って

園長 益子 浩

梅の花が咲き日差しも一段と明るさを増し本格的な春に向かって季節が進んでいます。那須連山や高原山には多くの積雪があり塩野谷の田畑をうるおしてくれらることでしよう。さて、令和二年度ももうすぐ年度末を迎えようとしています。年度当初は一六名だった児童も現在は二八名に増え小学生一名、中学一年生七名、中学二年生八名、中学三年生九名、中卒生三名という入所状況です。コロナ禍にあつて多くの生活様式が変化しましたが、学園生活の基本である「朝は希望に起き、昼は努力に生き、夜は感謝に眠る」営みは変わることはありません。子ども達は自身の課題と向き合い、仲間とともに成長してきました。いろんなことを乗り越えながら一緒に生活してきた寮の仲間の多くはもうじきそれぞれ

の進路に向かって大きく一步を踏み出すこととなります。

瞬間間に感染拡大となった新型コロナウイルス感染症への対応に追われた年度当初。四月には一回目の緊急事態宣言となり栃木県コロナウ

イル感染症対策本部から県民に対して不要不急の外出自粛要請が発出され、未知のウイルスに恐怖を抱きつつ、園内ではどのような対応を取るべきかてさぐりのまま、三密を避けることやマスク着用、手洗い、うがい、次亜塩素酸水での拭き取りなどの対策を徹底しました。また、できる限り人と人が接触する機会を減らすため、分校で臨時休校や分散登校の措置がとられ、主な学園行事の多くは中止又は組替え、代替行事への変更を余儀なくされました。四二年間欠かさず続けてきた、沢地区の皆さんとの合同大運動会も中止となり、その後も関東少年野球大会、関東少年水泳大会、関東女子バレーボール大会、関東少年卓球大会、高原マラソン大会、矢板市駅伝大会、関東少年文化祭と次々に中止となりました。

学園主催の学園祭やクリスマス会も飲食を伴うためご家族や日頃お世話になっている方々の招待は断念せざるを得ず、子ども達の成長した姿を見てもらえないのが無念でした。

こんな状況下でも子ども達は頑張っているし、なんとか試合や発表の機会をつくってやりたい、子ども達を次のステップへどうしたら送り

出せるか、そのためにはどうしたらよいかという暗中模索が常に傍らにありました。その後徐々にですが、さまざまな場面ごとの感染予防対策やガイドラインが示されるようになり、そうした対策を確実に行うことを前提に、できることから始めようという気運が高まってきたように思います。

生活指導等による子どもの変化や成長を、行事や家庭への帰省などをとおして、保護者の方に直接肌で感じ取ってもらうことは、極めて重要で、保護者の笑顔や掛けてくれる言葉は子ども達にとって何にも代えがたい励みとなります。那須学園で特に力を入れて取り組んでいる活動の一つに吹奏楽があります。全く楽器のできなかつた子ども達が一つ一つ音を積み上げ職員とともに楽曲に取り組むのです。それらの発表の場である各種文化祭などが全て中止となり、保護者の方々の前で発表する機会を失ってしまったことは、子ども達も職員も残念でなりませんでした。

実りの秋の季節になり、丹精を込めた水田は近年になく豊作で、収穫作業に汗を流していたころ、どこからともなく「吹奏楽発表会を学園でやればいいんじゃないか！」私にはどこからかそんな声が聞こえたような気がしました。行き当たりばったりというか、柔軟な対応というか、吹奏楽担当職員を中心に急遽準備を進め、



一二月二〇日(日)に那須塩原市黒磯文化会館大ホールでの発表会が実現しました。ホールの担当者の方々には、感染予防について丁寧にご指導いただき本当に感謝しています。

これまで招待できなかった保護者の方々や支援者の方々を招待し、子ども達の成長した様子を感じ取っていただけただけを本当に良かったなという思いでいっぱいです。招待者には収穫したばかりのコシヒカリとクリスマスカードも贈ることができました。

このなすびが発刊される頃には卒業を祝う式が行われていることとします。子ども達には夢や希望を持って自分の気持ちを大切に前向きに生きてほしいと願っています。



☆部活動報告☆

☆吹奏楽部

コロナ禍で様々な活動が制限される中、吹奏楽部も同様に多くの制限のもとで七ヶ月間練習してきました。密避けるために音楽室での練習はできず、どんなに暑かろうと寒かろうと、体育館で窓を開けて活動しました。

園内行事で演奏した以外は、発表の機会がなくなっていました。皆様のご協力と熱い思いで、一二月二〇日(日)に那須塩原市黒磯文化会館をお借りして、那須学園の「吹奏楽部発表会」を開催することができました。猛練習して当日を迎え、今年度の吹奏楽部の集大成を、応援してください。披露しました。

最後に子ども達の感想をいくつかご紹介します。「努力すれば上手になる」という事が学べました。「春からやってきて皆も自分もうまくなつてすごかった」「親やワーカーの前でいいアピールができてよかった」「肝心な時に音が出なくて悔しかった」「来年はふてくされないでちゃんとできるようにする」

☆行事報告☆

☆修学旅行

一〇月二九～三〇日

一〇月二九日、三〇日に山形方面への修学旅行へ行きました。道中ではどの生徒もこれからの行程に楽しみでいっぱいの様子でした。上杉神社への参拝後に訪れた山寺では、一〇〇段の階段に四苦八苦しながらも登り切って達成感のある表情を見せていました。いつもとは違う食事に感激し、慣れないお金の計算もしながら、楽しく過ごすことができたようでした。二日目には加茂水族館を訪れ、様々な生き物や巨大なクラゲ水槽に圧倒されていました。最後の活動となるライン下りでは、紅葉の始まる山々を眺めながら、船頭さんの話を聞き、穏やかな時間を味わいました。新型コロナウイルス感染拡大から、なかなか外にでる行事が行えない中、修学旅行に行くことができたことへの感謝を忘れずに、今後の生活に活かして活かし、もらえたらと思えます。



☆里芋掘り・サツマイモ掘り

十一月六・九日

十一月六日・九日の両日に、里芋・サツマイモの収穫を行いました。春先に植えた芋は順調に成長してくれ、特に里芋は昨年度より数も多く、出来が良いものでした。子ども達は、土で汚れながらも、時間いっぱいまで活動しました。時間内では収穫しきれずに残りは中卒生の助けを受けましたが、収穫の喜びを味わうことができました。

また、二十日の収穫感謝祭では、雑煮風の汁物や豚汁を食すと同時に自然への畏敬の念をもったり、日頃お世話になっているランクルームの方々や農場担当の藤田さんに感謝したりすることもできました。



☆遠足

一月十三日

今年は昨年と同様、午前中に日光赤沼車庫をスタートし、湯滝までのコースをハイキングしました。午後は、世界遺産である日光東照宮を見学しました。今年はコロナ禍ということもあり、数少ない外へ出での活動となりました。天気にも恵まれ、爽やかな秋の空気を感じながらのハイキングをすることができました。

午後の日光東照宮では、事前に日光東照宮の歴史や見どころを学習したため、目的をもって見学することができました。

子ども達からは、「新型コロナが流行している中、遠足を計画してくださった先生方に感謝したいです」という感想もあり、当たり前に行事ができることのありがたさとそれを支えてくださっている方々への感謝の気持ちも感じることができたよい機会となりました。



☆収穫感謝祭

一月二〇日

一月二〇日(金)に収穫感謝祭を実施しました。例年は全ヶ寮の子ども達と職員が食堂棟に集まって餅つきや小学生が作成した野菜のクイズなどを行っていましたが、今年度は新型コロナウィルス感染拡大の予防策として各寮に分かれて餅つきを実施しました。

餅つきはほとんどの子ども達が初めての経験だったようで、臼を叩いてお餅にゴミが入ってしまったり、熱いお餅に大苦戦していましたが、最後まで楽しんで取り組んでいました。寮毎で行った会食では、あんこ餅、きなこ餅、豆餅の他に学園産の野菜が入ったお雑煮を準備しました。つきたてのお餅を何度もおかわりして、動けなくなるほど食べていました。

餅つきに使った餅米は春の田植えから夏場の除草、秋の稲刈り、はぎ掛けと一年を通して那須学園の田んぼで子ども達と職員で育ててきた物です。稲作の大変さ、作物への有り難み、そして収穫した物を食べる喜びを感じられる行事になりました。

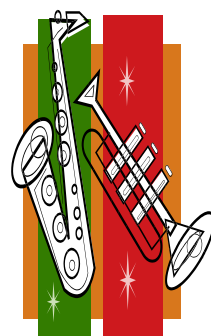


☆吹奏楽発表会

一月二〇日

一月二〇日(日)に那須塩原市黒磯文化会館で、那須学園吹奏楽部の発表会を開催しました。コロナ禍で多くの行事が中止になり、吹奏楽部の発表の機会もなくなりましたが、日頃応援してくださっている方々に子ども達が頑張っている姿を見ていただく方法はないかと模索し、実施したのが今回の発表会です。感染症対策を最大限実施して、保護者・児相・前籍校・地域の方々をお招きし、練習の成果を発表しました。

当日は「君の瞳に恋してる」と「となりのトトロ」の合奏と、パートごとのソロ発表を披露しました。大きな会場で皆と楽器を演奏したり、たった一人で曲を吹いたりしている時、子供達はとても一生懸命な顔でした。今まででいちばんの演奏ができたと思います。楽しみにしてくださいました皆様、ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



☆クリスマス会

一月二五日

例年はお客様をお招きして、学園の皆でクリスマス会を開催していましたが、新型コロナ感染症のため、寮ごとのクリスマス会になりました。

今年度は寮対抗のクリスマス作品展を開催し、各寮から趣向を凝らした素晴らしい作品が出品され、吹奏楽発表会や学園の本館入り口などに展示しました。吹奏楽発表会では、子ども達と職員が協力して、手作りクリスマスカードや学園で収穫されたお米のプレゼントなどを準備し、日頃からお世話になっている方へお礼の気持ちを伝えました。

クリスマス当日は、寮ごとに企画したお楽しみ会やクリスマスメニューの夕食をいただくなど子供も職員も一緒に楽しみました。途中サンタクロースも登場し一人一人プレゼントを手渡され、和やかな雰囲気でごすことができました。



☆席書大会

一月八日

令和三年一月八日。冬休み明け登校初日の朝から、毎年恒例の席書大会が行われました。決意の言葉を選び、作文を書いて音読の練習をするのはもちろん、習字道具の使いから後片付けの仕方まで、大会で思う存分持てる力が発揮できるよう、一か月前から準備をしてこの日を迎えた子ども達。当日は、緊張しながらも自信をもって大会に臨むことができました。

コロナ禍の中、発表会場が会議室から体育館に変更になり、飛沫感染防止シート使用の上マスク着用での発表となるなど、係としては、声は届くのか？ ストープはどうする？心配事が次々出てくる大会になりましたが、とにかく、臨機応変に動いてくれた子供達に感謝です。



☆マラソン大会、駅伝大会

一月十二日

二月十二日園内マラソン大会が実施され、男子は四・二キロ、女子と小学生は三キロの距離を全員が走り切りました。

大会当日は園外のコースを走り、新鮮な気持ちで競技に臨むことができました。練習では毎日タイムを測定し、自分のベストに挑戦させたり、一人一役の役割を決め、チームに貢献する意識を育てたりと、マラソンを通して、精神的な成長を目標に取り組んできました。本番では、一人一人が全力で走る表情や姿勢が感じられました。

また、午後の部として、寮對抗駅伝大会も実施されました。チーム全員で襷をつなぎ、必死で走り汗を流す姿が見られました。次年度も、さらに良い行事にしていきたいと思えます。



☆立志式

二月四日

二月四日に立志式が開催されました。立志の作文発表では、二年生一人一人が自分の将来の夢や目標について堂々と発表しました。発表中、緊張した様子も見られましたものの、自分の課題を自覚し、今の自分に何が足りないのか、夢を実現させるために必要なことなどを述べていました。

立志を迎える中で、改めて今の自分の生活を振り返り、今後に向けての覚悟公言する良い機会となりました。また、今回の行事に参加して下さった方々や、式の準備など陰で支えてくれた人たちに感謝の気持ちをもち、これからの生活を送れるよう支援していきたいと思えます。



今後の予定

『新型コロナウイルスのため、実施するかどうか、どのように実施するか、実施日など、詳細については未定』

三月 一五日 卒業生を祝う式

三月 一九日 じゃがいも植え

三月 二四日 修了式

編集後記

令和二年度は新型コロナウイルスの影響を大きく受け、例年よりも行事が行えず、窮屈な思いをした一年間でしたが、思い返してみると不便ながらも工夫を凝らしながら行った行事はいつも以上の思い出となって心に残っています。関係機関の方々には面接面会制限等ご迷惑をお掛けすることもありましたが、様々なご支援ご協力をいただきありがとうございます。今後も子ども達へ温かい声援をお願いします。

育成課

石口・石田・松田・片岡